

リフトアップチェア セパラ

970010-9900



はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

- 安全のため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、いつでも取り出せるように、大切に保管してください。

※ 製品の仕様変更などにより、本書に記載のイラストや内容が実際の製品と多少異なる場合があります。
また、この取扱説明書の内容については、予告なしに変更することがあります。

目次

安全上のご注意	2
部品の確認	4
各部のなまえとはたらき	5
使用方法	6
組立・分解方法	10
リモコンの付け替え方法	17
移動方法	20
お手入れ方法	20
保管方法	21
こんなときには	21
仕様	22
アフターサービス	22
お客様相談室	裏表紙
保証書	裏表紙

安全上のご注意

この取扱説明書および製品の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するために、下記の区分や図記号で表示しています。

その指示と内容は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

区 分	 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、『人が死亡または重傷を負う可能性』が想定される内容です。
	 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、『人が傷害を負う可能性』および『物的損害のみの発生』が想定される内容です。
図記号の例	 ○ 記号は、『禁止の行為であること』を示しています。 (左図の場合は分解禁止)	
	 ● 記号は、『行為の強制や指示する内容』を示しています。 (左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)	

警告

 必ず守る	製品を作動させるときは、駆動部の下に子供や動物がいないこと、周囲に人や障害物がないことを確認する。 事故やけが、破損や故障の原因になります。	動かない場合や異常のある場合は直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く。 感電や漏電、ショートなどによる火災の原因になります。 修理を『お買い上げの販売店』または弊社『お客様相談室』にご依頼ください。
 禁止	幼児や子供、身体が自由が利かない人、自分で意思表示や操作ができない人など、補助が必要な人には使用させない。 事故やけが、故障の原因になります。	子供に製品の上で遊ばせたり、乗らせたりしない。 事故やけが、故障の原因になります。
	座を昇降・背をリクライニングさせているときに前後左右から圧力をかけない。 転倒する原因になります。	製品を作動させるときは、背もたれや座面、肘掛けの間に手や脚など、体を挟まない。 けがの原因になります
	電源コードや電源プラグ、コネクタプラグが傷んでいたり、熱くなったりした場合やコンセントの差し込みが緩いときは使用しない。 感電やショート、発火の原因になります。	電源コードなどのコード類を傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない。また、重いものを載せたり、挟み込んだり、熱器具に近づけて使用したりしない。 感電やショート、発火の原因になります。
	コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V、50/60Hz以外の電源では使用しない。 たこ足配線などで定格を超えると火災や感電の原因になります。 電源は家庭用100Vコンセントを使用してください。	
 分解禁止	分解や修理、改造をしない。 火災や感電、けがの原因となります。	
 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、リモコンを操作したりしない。 感電や故障・誤作動の原因になります。	

注意



必ず守る

電源プラグやコネクタープラグは、容易に離脱しないよう確実に最後まで差し込む。

ピンやほこり、水分などが付着し、火災や感電の原因になります。

突起物や障害物のない水平な場所で使用する。
事故やけが、故障の原因になります。

木床や畳など凹んだり傷つきやすい床の上に設置する際は、カーペットなどを敷く。
床面の傷や破損の原因になります。



禁止

電源プラグやコネクタープラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜くなどして、プラグとコードの接続部に無理な力をかけない。

感電やショート、発火の原因になります。

電源やリモコンなどのコード類の配線はいすの下や背もたれ、座面、肘掛けの間などを通さない。

断線や破損の原因になります。

製品を倒したり、飛び乗ったり、強い衝撃を与えたりしない。

破損や故障の原因になります。

暖房器具や放熱機器の近くに設置しない。

火災や故障、変色の原因となります。

製品に複数人で乗らない。

けがや故障の原因になります。
定員は1人（耐荷重 80kg）です。

背もたれや肘掛けには乗らない。

けがや故障の原因になります。

製品に人や物を載せて移動しない。

けがや故障の原因になります。

張り地やカバーを無理に引っ張ったり、刃物やとがったもので突き刺したりしない。

破損や故障の原因になります。

製品を移動させるときは引きずらない。

床面の傷や破損の原因になります。キャスターを利用して移動してください。持ち上げて移動する場合は2人以上で運んでください。

汚れをふき取るのに、シンナー、ベンジン、アルコール、その他の溶剤や磨き粉などは絶対に使用しない。

ひび割れや変形、変色の原因になります。



電源プラグを抜く

雷、地震、停電の場合は直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く。

故障の原因や復帰したときに危険です。

使用していないときは電源プラグをコンセントから抜く。

絶縁劣化による感電、漏電火災の原因になります。

製品を移動させる際は電源プラグをコンセントから抜く。

断線や故障の原因になります。

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。

感電や誤って作動させてしまい、けがの原因になります。



水ぬれ禁止

本体やリモコンを水などでぬらさない。

感電やショート、発火の原因になります。



風呂、シャワー室での使用禁止

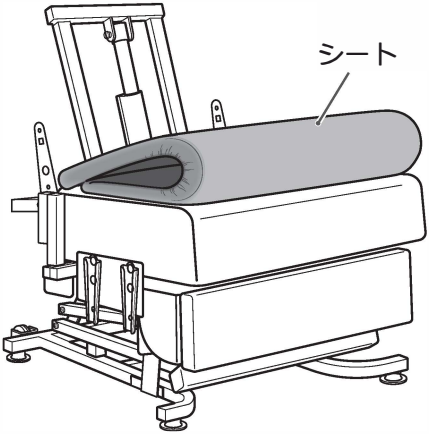
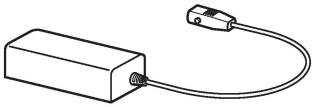
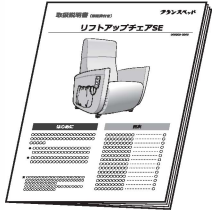
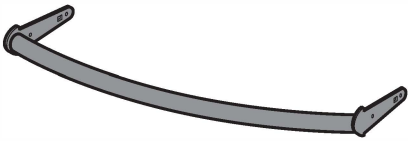
浴室など湿度の高い場所では使用しない。

感電や故障の原因になります。

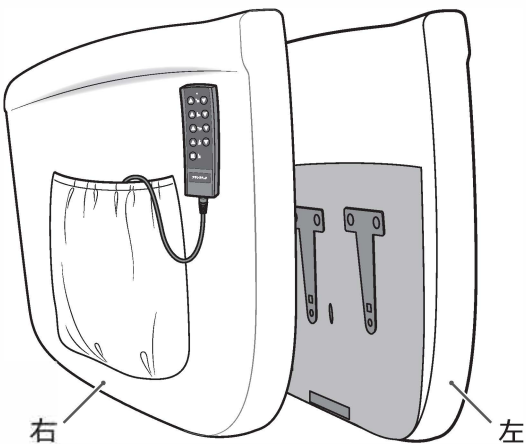
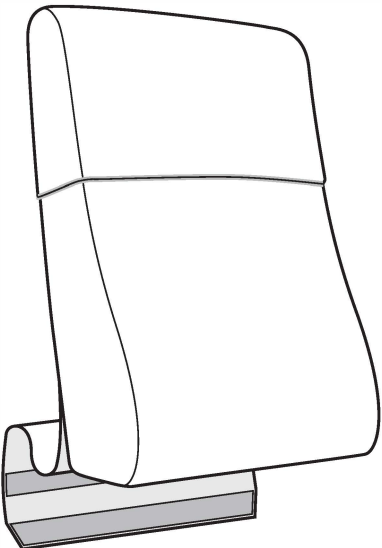
部品の確認

- 以下の部品が揃っていることを確認してください。

【梱包 1】

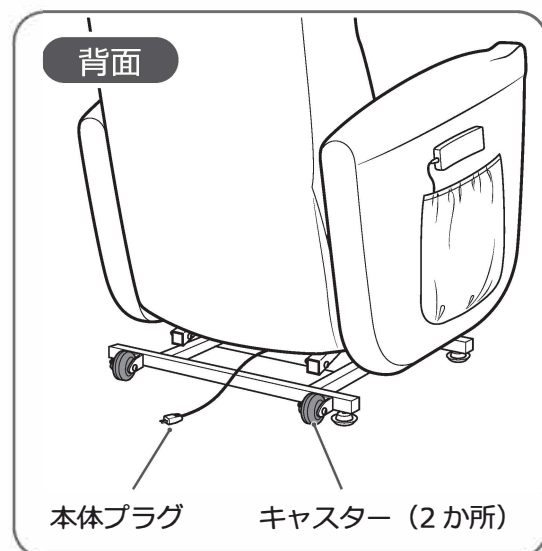
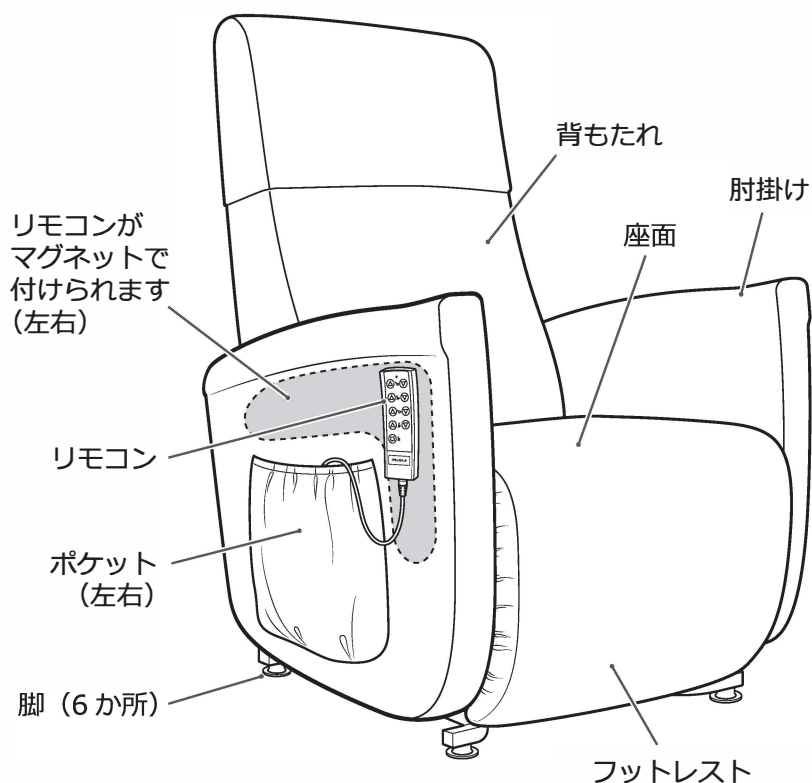
		
	アダプター	ノブボルト(2 個)
		
座面本体(シート付き)	電源コード	取扱説明書
		
肘掛け固定フレーム		

【梱包 2】

	
肘掛け／右(リモコン付き)、左	背もたれ

各部のなまえとはたらき

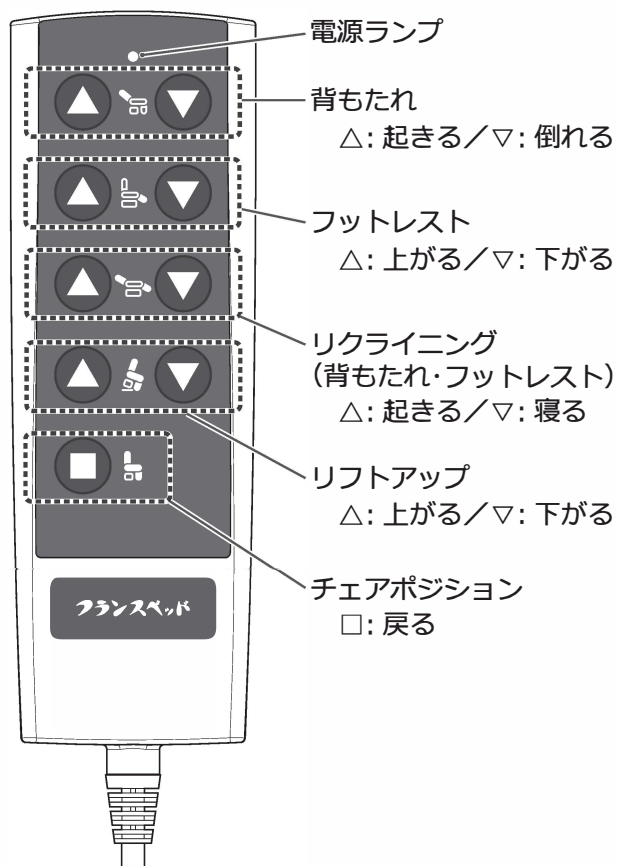
本体



リモコン (操作方法)

● リモコン操作について

ボタンを押し続けている間は動作し、
離すと動作が止まります。

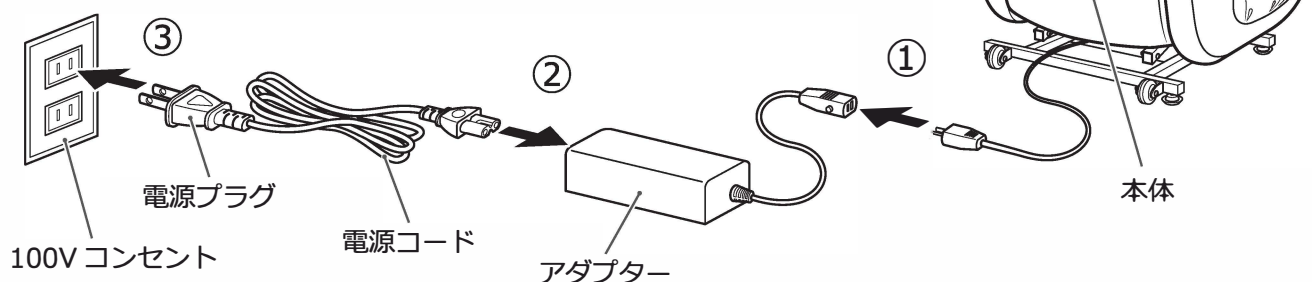


使用方法

準備

電源コードを接続する

- ① 本体とアダプターのプラグを接続します。
 - ② アダプターに電源コードを接続します。
 - ③ 電源プラグを交流 100V コンセントに差し込みます。
- ※ ③の電源プラグは必ず最後に差し込んでください。



リフトアップ

座る

1

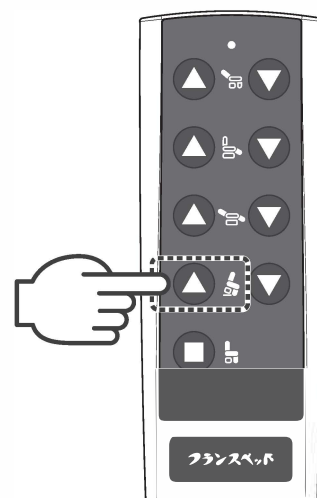


リフトアップ



(上がる)ボタンを押す

- リモコンのリフトアップ、△(上がる) ボタンを押し続け、座面を座りやすい位置まで上げます。



2

腰をおろす

- 肘掛けに手をかけて静かに腰をおろします。

3

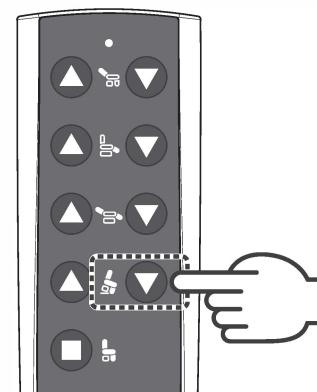


リフトアップ



(下がる)ボタンを押す

- リモコンのリフトアップ、▽(下がる) ボタンを押し続けて、座面を一番下まで下げます。



リフトアップ

立つ

1

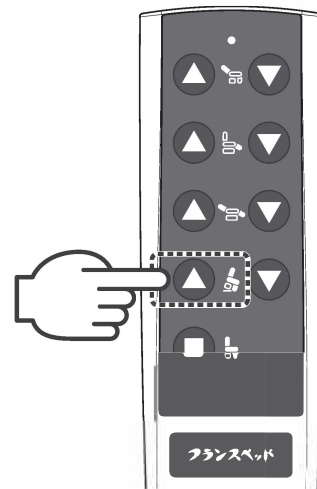


リフトアップ



(上がる)ボタンを押す

- リモコンのリフトアップ、△(上がる) ボタンを押し続けて、座面を立ち上がりやすい位置まで上げます。



2

立ち上がる

- 肘掛けに手をかけて立ち上がります。

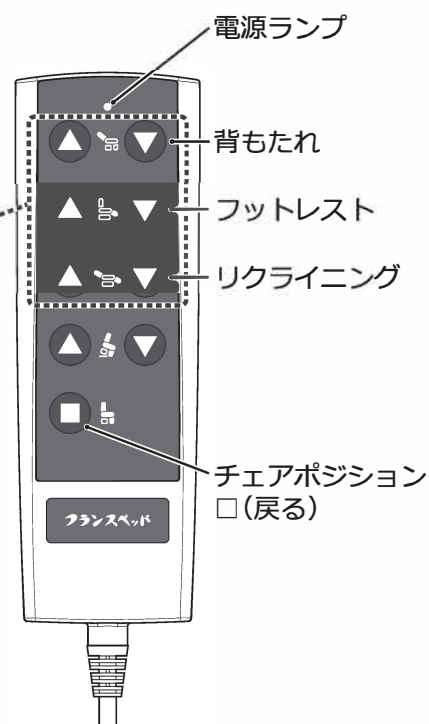
リフトアップ状態でのボタン操作について

リフトアップした状態では、

背もたれ・フットレスト・リクライニングの△・▽ボタン

は、チェアポジション、□(戻る) ボタンと同じ動作を行います。

※ リフトアップした状態で、背もたれ・フットレスト・リクライニングの△・▽ボタンを操作している間は、電源ランプが点滅します。



リクライニング（背もたれ+フットレスト=連動）

寝る

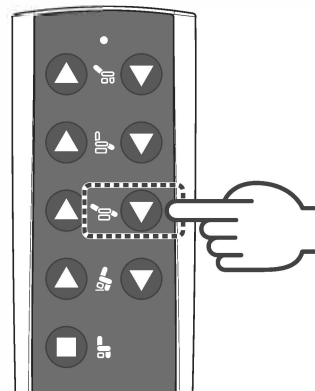


リクライニング



（寝る）ボタンを押す

- リモコンのリクライニング、▽（寝る）ボタンを押し続けて、背もたれとフットレストをお好みの位置までリクライニングさせます。



起きる

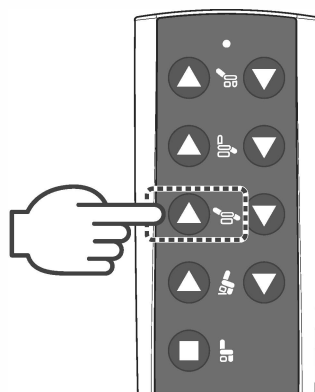


リクライニング



（起きる）ボタンを押す

- リモコンのリクライニング、△（起きる）ボタンを押し続けて、背もたれとフットレストを戻します。



背もたれ

倒れる

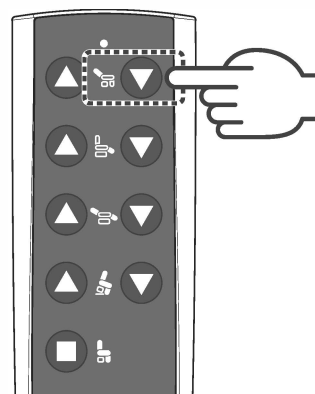


背もたれ



（倒れる）ボタンを押す

- リモコンの背もたれ、▽（倒れる）ボタンを押して、背もたれをお好みの位置まで倒します。



起きる

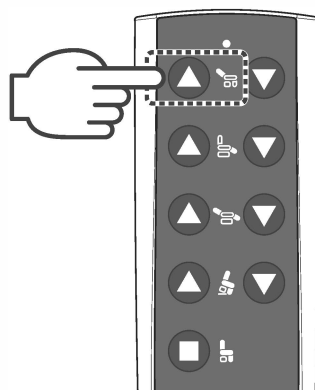


背もたれ



（起きる）ボタンを押す

- リモコンの背もたれ、△（起きる）ボタンを押して、背もたれを起こします。



フットレスト

上がる

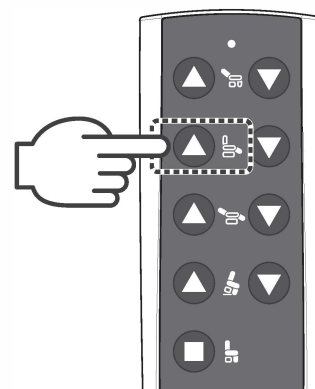


フットレスト



(上がる)ボタンを押す

- リモコンのフットレスト、△(上がる) ボタンを押して、フットレストをお好みの位置まで上げます。



下がる

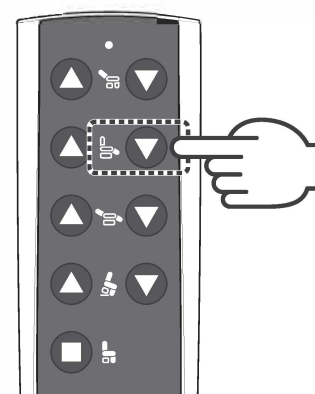


フットレスト



(下がる)ボタンを押す

- リモコンのフットレスト、▽(下がる) ボタンを押して、フットレストをお好みの位置まで下げます。



チェアポジション (いす状態)

戻る

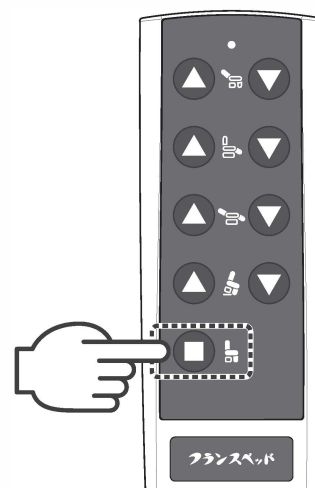


チェアポジション



(戻る)ボタンを押す

- リモコンのチェアポジション、□(戻る) ボタンを押し続けて、背もたれやフットレスト、リフトアップ状態をいす状態に戻します。



組立・分解方法

⚠ 注意



必ず守る

開梱・組立は2人以上で行う。

けがや破損の原因になります。

開梱する前に、床面を保護する敷物（毛布など）を敷く。

床面が傷つく原因になります。

軍手や手袋をして作業を行う。

けがの原因になります。

リモコンと肘掛けの取り付け方

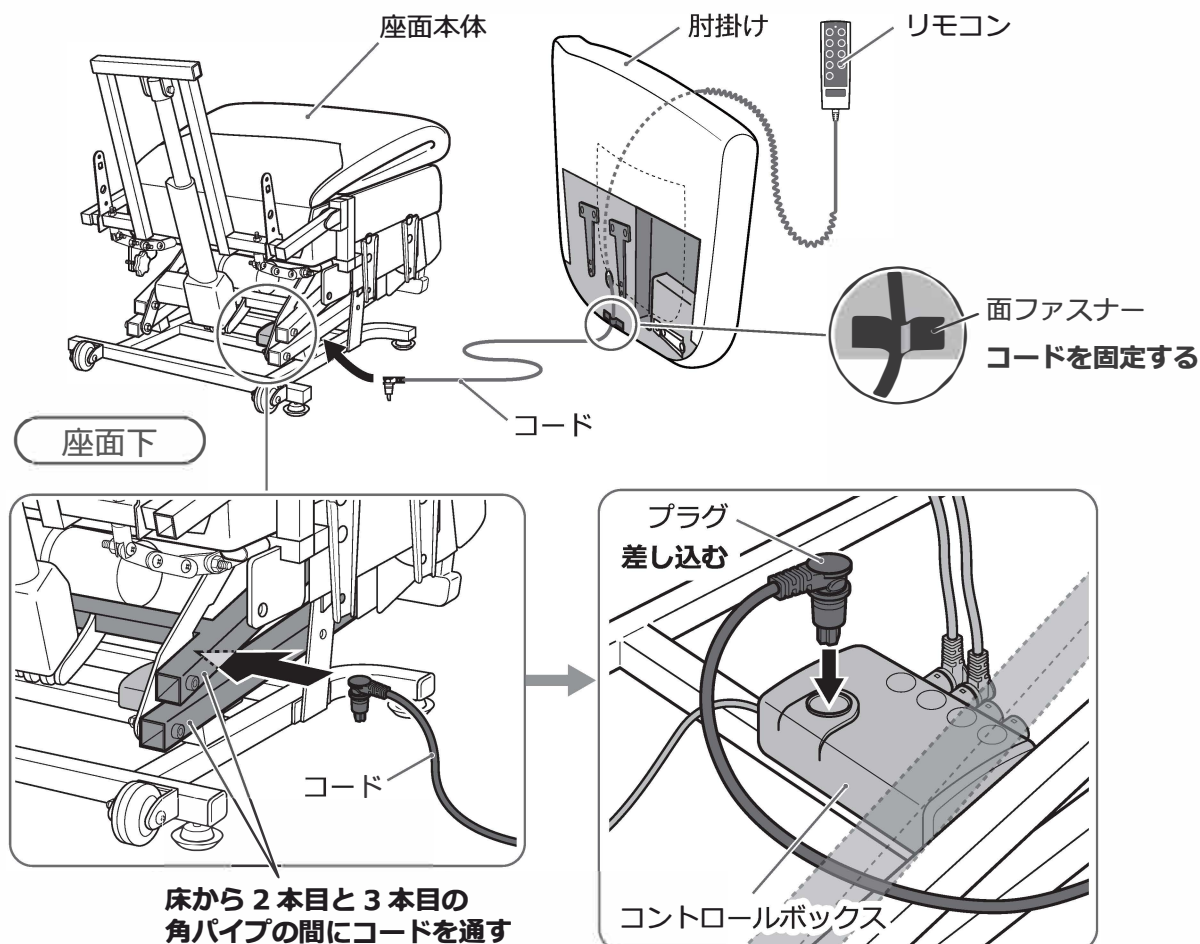
※ 取り外し方は取り付け方の逆の手順で行ってください。

1. リモコンを取り付ける

※ リモコンは工場出荷時に右側の肘掛けにセットされています。左側で使用する場合は、右側の肘掛けから抜き取り、左側の肘掛けにセットし直してください。（18 ページ参照）

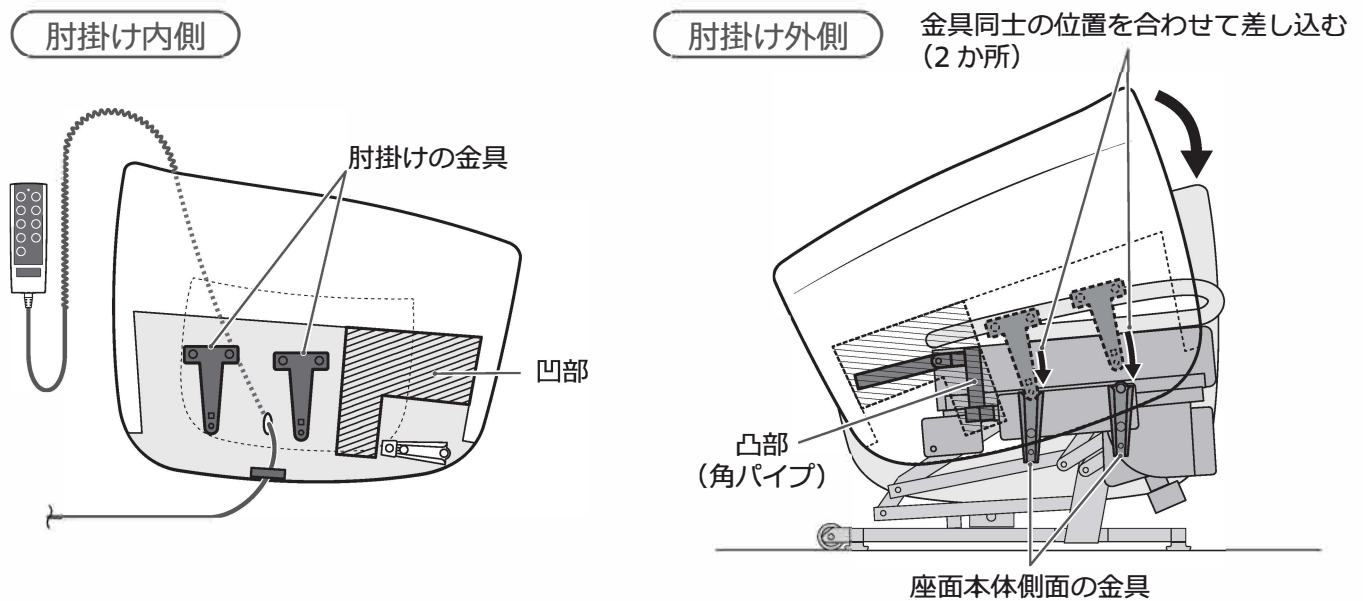
- ① 肘掛けを座面本体の取り付け位置に近づけ、コードを床から2本目と3本目の角パイプの間を通し、プラグを座面下にあるコントロールボックスに差し込みます。
- ② 肘掛け内側下部の面ファスナーでコードを固定します。

※ リフトアップの際にプラグへ過度な負荷がかからないよう、コードに十分な余裕（たるみ）を持たせて配線してください。



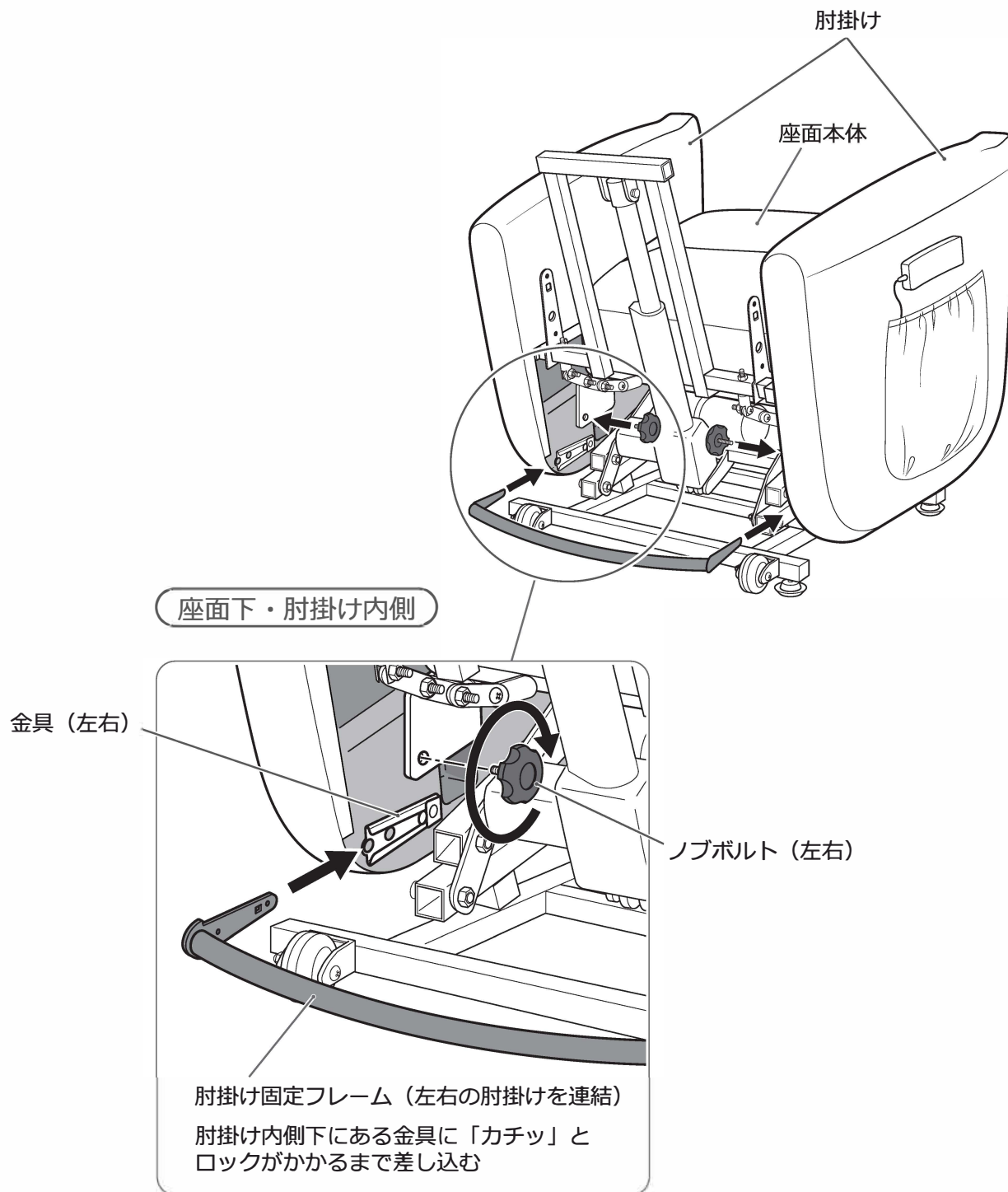
2.肘掛けを取り付ける

- ① 肘掛け内側の凹部に、座面本体側面の凸部（角パイプ）を合わせます。
 - ② 座面本体側面の金具（2か所）に肘掛けの金具（2か所）の位置を合わせて差し込みます。
- ※ リモコンコードを引っ張ったり、挟み込んだりしないよう、注意して作業してください。
- ③ 反対側の肘掛けも同様に取り付けます。
 - ④ 取り付けた肘掛けに浮きやガタツキ、コードの挟み込みがないことを確認してください。



3.取り付けした肘掛けを固定する

- ① ノブボルト（2個）で左右の肘掛け内側を座面本体に固定します。
- ② 肘掛け内側下にある金具（左右）に肘掛け固定フレームを「カチッ」とロックがかかるまで差し込み、左右の肘掛けを連結します。



4.シートをフットレストに固定する

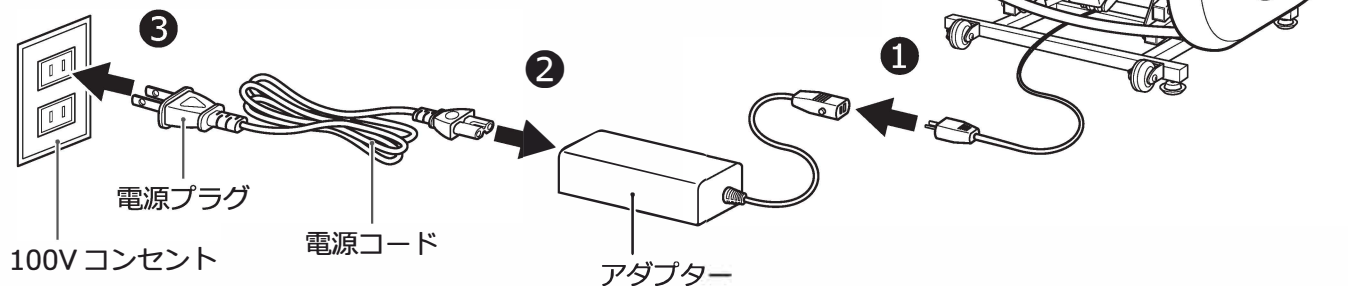
① 電源を接続します。

① 座面本体から出ているプラグとアダプターのプラグを接続します。

② アダプターに電源コードを接続します。

③ 電源プラグを交流 100V コンセントに差し込みます。

※ 電源プラグは必ず最後に差し込んでください。



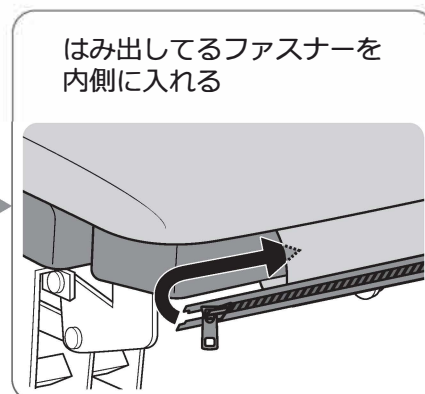
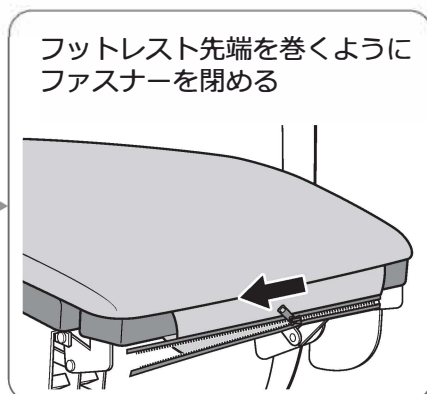
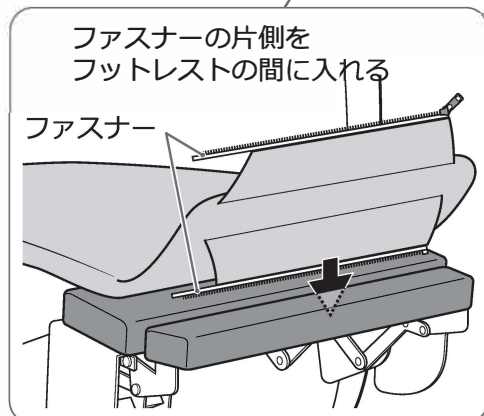
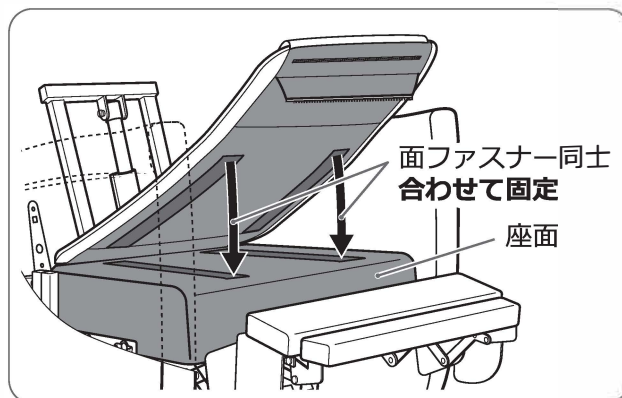
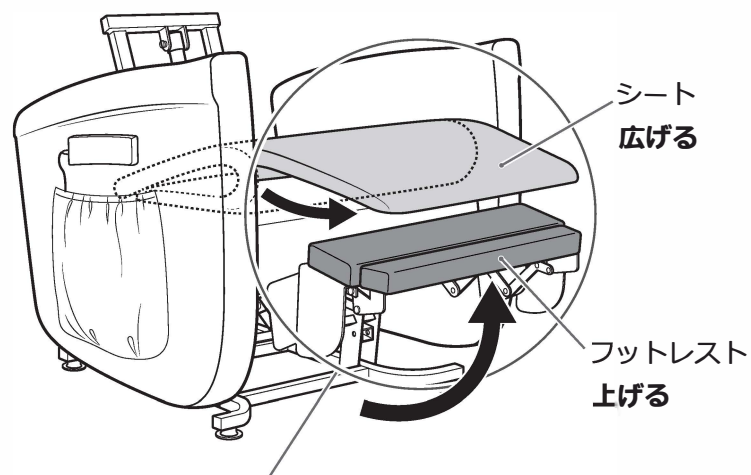
② リモコンでフットレスト「△ 上がる」ボタンを押し、フットレストを上げます。

③ 座面に折り返してあるシートを広げます。

④ 座面とシートは面ファスナーで固定されています。面ファスナー同士の位置が合っているか確認し、ズレている場合は合わせて固定します。

④ フットレスト先端にシート先端をファスナーで固定します。

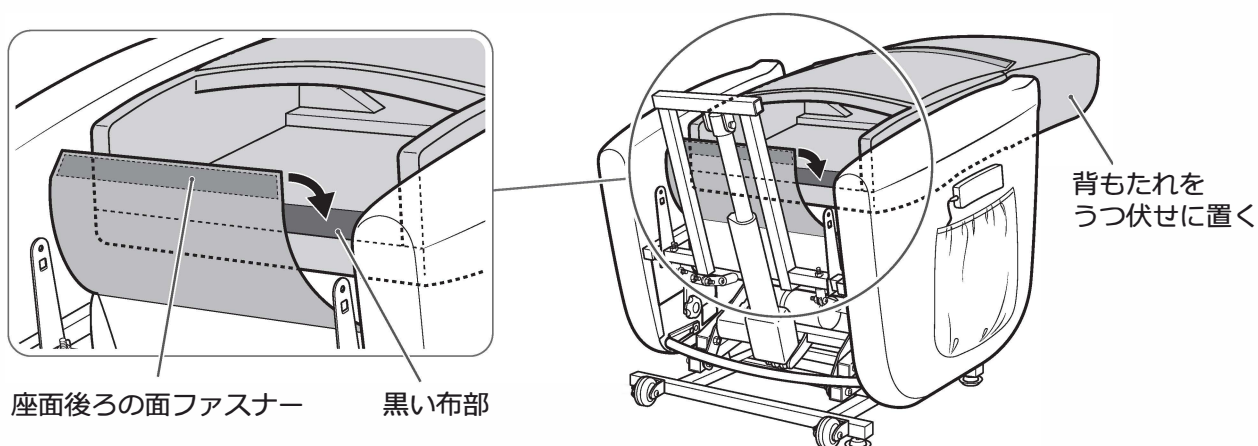
リモコンでフットレスト「▽ 下がる」ボタンを押してフットレストを元に戻します。



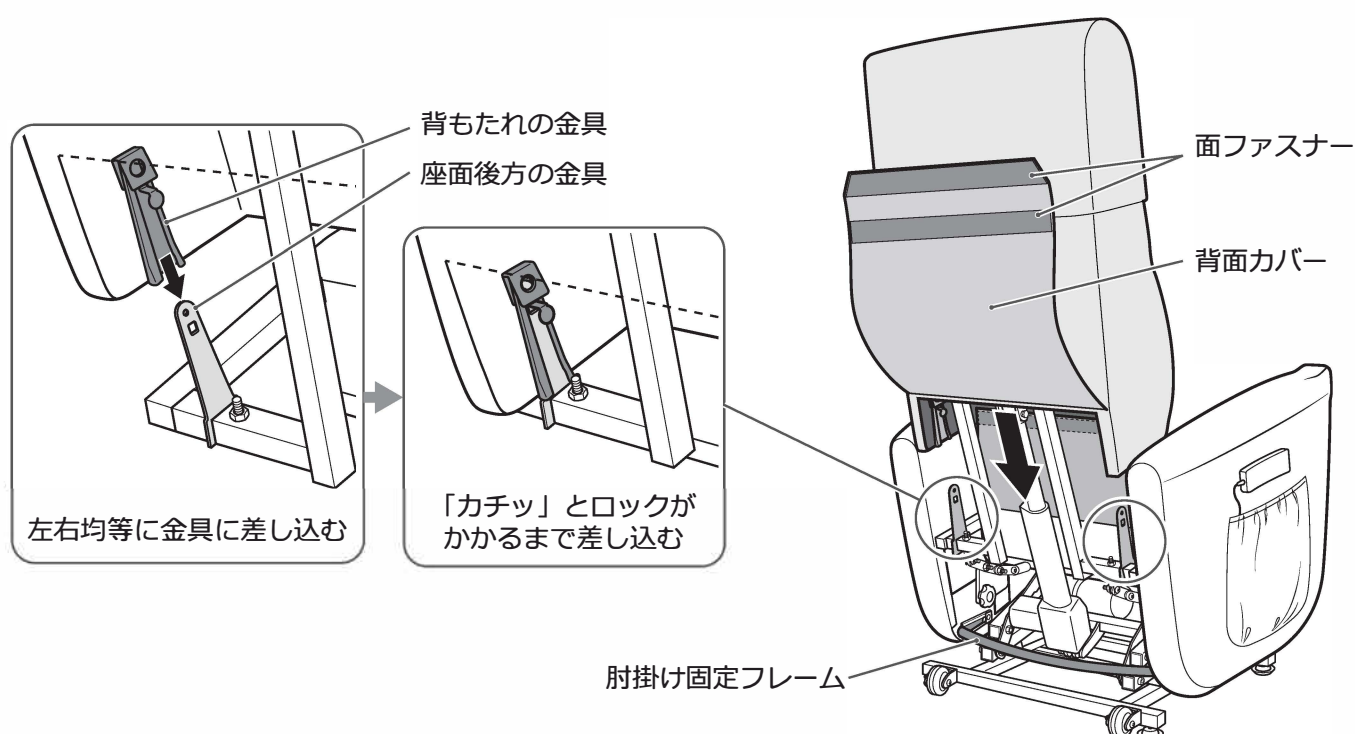
背もたれを取り付け方

● 背もたれを取り付ける

- ① 背もたれ背面下側（黒い布部）に座面後ろ側にある面ファスナーを取り付けます。
背もたれと座面の間から物が落ちないようにするために、背もたれと座面の間を布地でつなぎます。
※ 座面に背もたれをうつ伏せに置くと作業がしやすくなります。

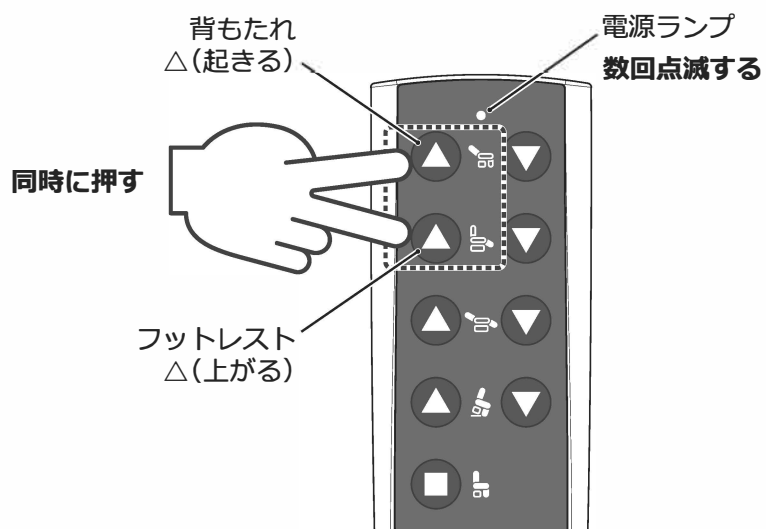


- ② 背もたれを持ち上げ、座面本体のフレームに被せ、座面後方の金具と背もたれの金具の位置（左右）を合わせて、背もたれを左右均等にゆっくりと「カチッ」とロックがかかるまで差し込みます。
※ 取り付ける際、手を挟まないよう注意してください。
- ③ 取り付けした背もたれに浮きやガタツキが無いことを確認してください。
- ④ 背もたれにある背面カバーの面ファスナーを肘掛け固定フレームに巻き付けるように固定します。



⑤ リセットを行います。

リモコンの背もたれ、△(起きる) ボタンとフットレスト、△(上がる) ボタンを同時に押します。
電源ランプが数回点滅した後、チェアポジションに戻り、リセット完了です。

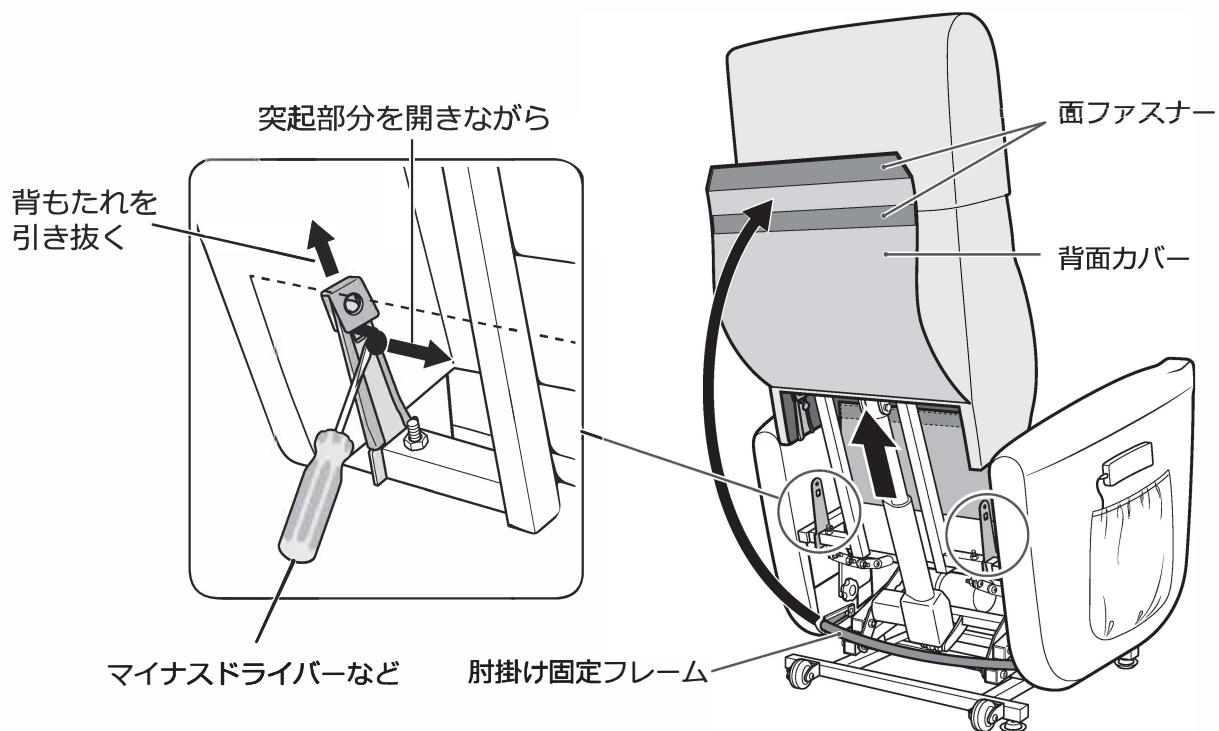


⑥ 最後にリモコンを操作して動作に問題がないことを確認してください。

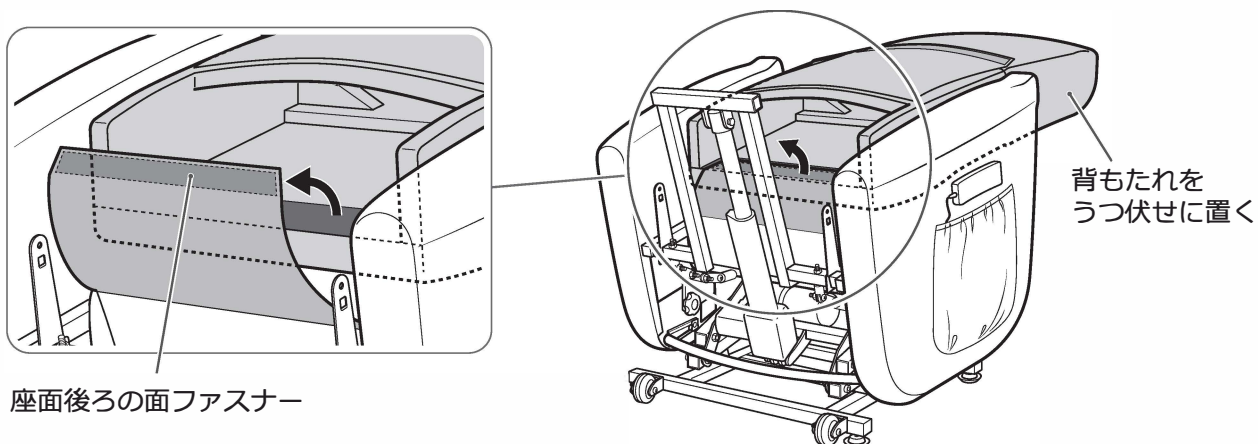
背もたれの取り外し方

● 背もたれを取り外す

- ① 背もたれにある背面カバーの面ファスナーを肘掛け固定フレームからはがし、カバーを上げます。
- ② 背もたれにある左右の金具の突起部分をマイナスドライバーなどで開いて、ロックを外しながら背もたれを持ち上げて引き抜きます。



- ③ 抜いた背もたれをそのまま座面にうつ伏せに置き、背もたれと座面をつないでいる布地（面ファスナー）をはがします。



リモコンの付け替え方法

リモコンを左右反対側へ付け替える方法

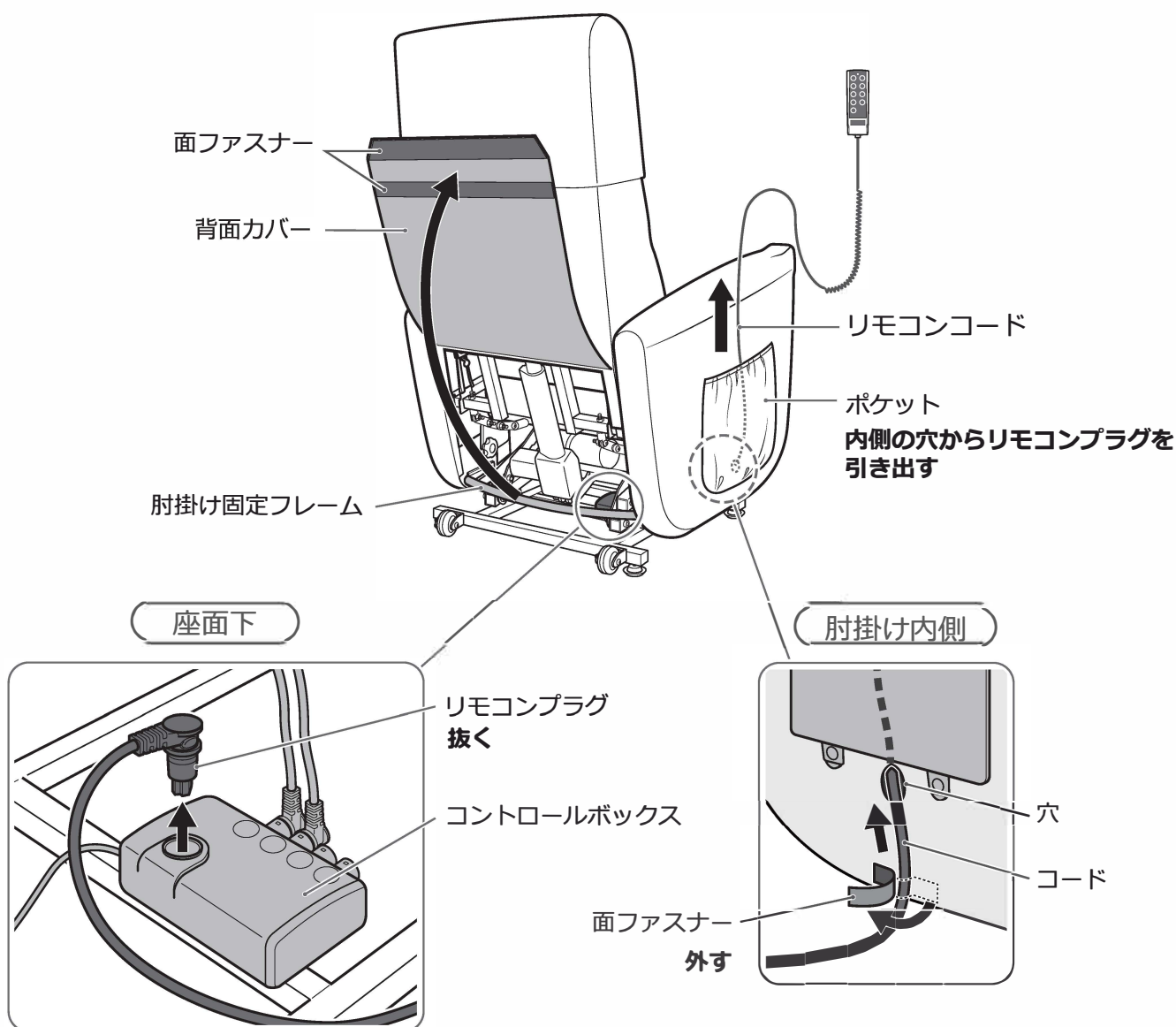
(イラストは右側から左側への付け替えです)

1. リモコンを取り外す

※ チェアポジション（いす状態）で付け替えにくい場合は、リフトアップした状態で作業してください。

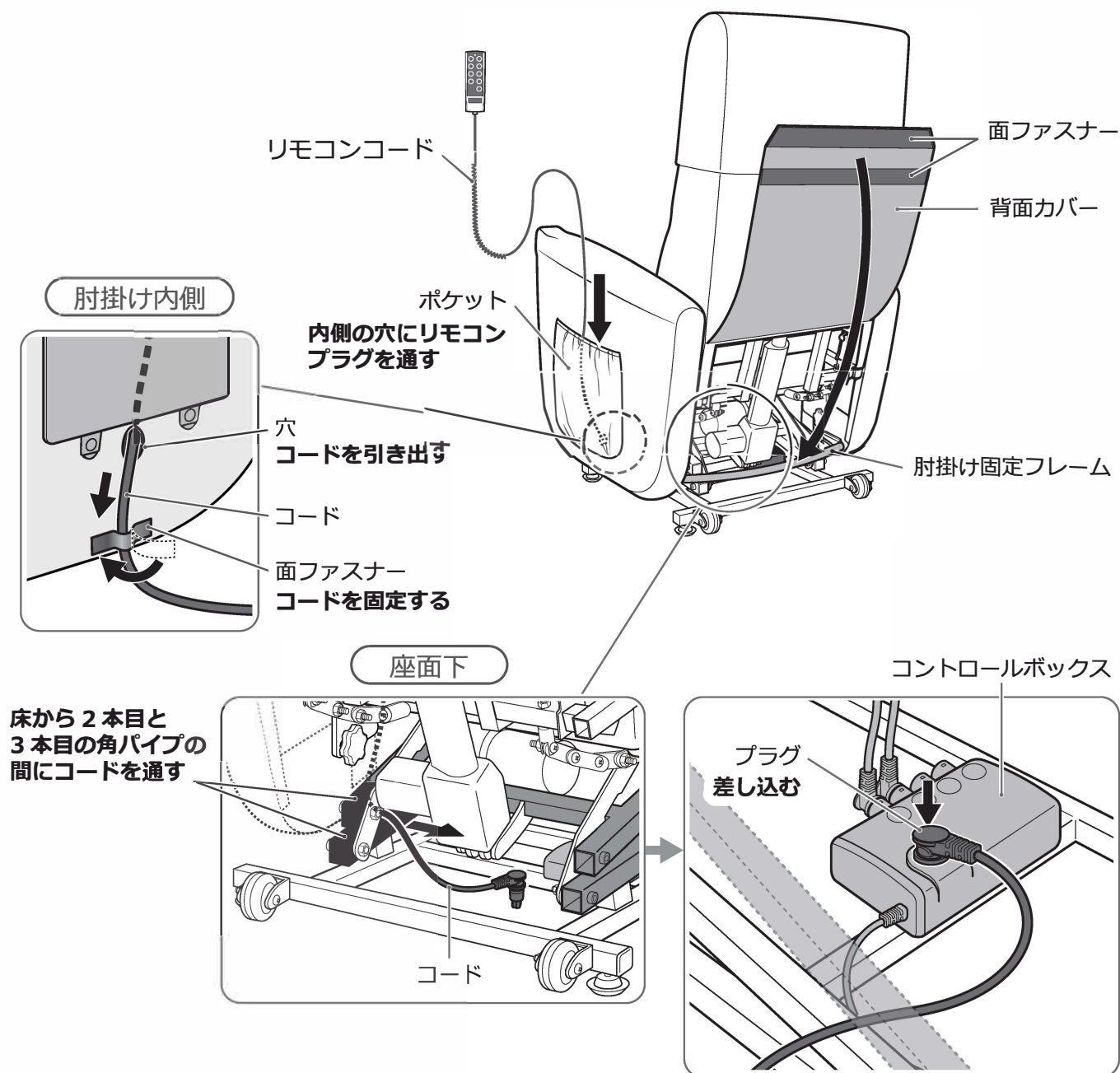
※ 安全のため、電源コードを抜いて作業してください。

- ① 背もたれにある背面カバーの面ファスナーを肘掛け固定フレームからはがし、カバーを上げます。
- ② 座面下のコントロールボックスに差し込まれているリモコンプラグを抜き、肘掛け内側下部でコードを固定している面ファスナーを外します。
- ③ 肘掛けのポケット内側下部にある穴からリモコンコードを引き抜いてリモコンを取り外します。



2. リモコンを反対側へ取り付ける

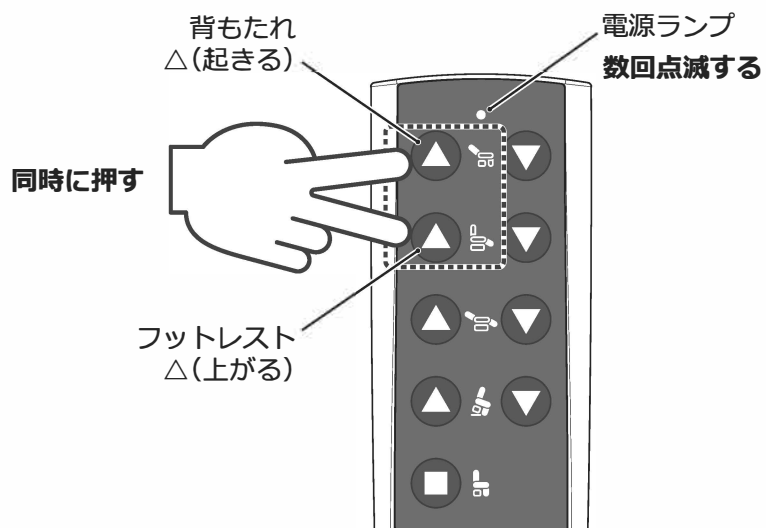
- ① 反対側の肘掛けのポケット内側下部にある穴に、リモコンのプラグを通してコードを引き出します。
 - ② 引き出したコードを床から2本目と3本目の角パイプの間を通し、プラグを座面下にあるコントロールボックスに差し込みます。
 - ③ 肘掛け内側下部にある面ファスナーでコードを固定します。
- ※ リフトアップの際にプラグへ過度な負荷がかからないよう、コードに十分な余裕（たるみ）を持たせて配線してください。
- ④ 背もたれの背面カバー下部を肘掛け固定フレームに巻きつけるように面ファスナーで固定します。



⑤ リセットを行います。

電源を接続し、リモコンの背もたれ、△(起きる) ボタンとフットレスト、△(上がる) ボタンを同時に押します。

電源ランプが数回点滅した後、チェアポジションに戻り、リセット完了です。



⑥ 最後にリモコンを操作して動作に問題がないことを確認します。

移動方法

⚠ 注意



電源プラグ
を抜く

製品を移動させる際は電源プラグをコンセントから抜く。

断線や故障の原因になります。

コード類は床に垂らさないでください。手で持つか椅子の上に上げてください。



禁止

製品を移動させるときは引きずらない。

床面の傷や破損の原因になります。キャスターを利用して移動してください。持ち上げて移動する場合は2人以上で運んでください。

製品に人や物をのせて移動しない。

けがや故障の原因になります。

- ① チェアポジション（いす状態）にします。
リモコンのチェアポジション・□戻るボタンを押します。
 - ② 背もたれを持っていすを後ろに倒し、キャスターだけが床面に付いた状態にして、ゆっくり移動させます。
- ※ 移動するときにコード類をキャスターで踏まないでください。



お手入れ方法

⚠ 注意



電源プラグ
を抜く

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く。

感電やけがをすることがあります。



禁止

汚れをふき取るのに、シンナー、ベンジン、アルコール、その他の溶剤や磨き粉などは絶対に使用しない。また、殺虫剤をかけない。

ひび割れや変形・変色、感電・引火の原因になります。



必ず守る

本製品を廃棄する場合は地域の条例に基づいて廃棄処理する。

● 布地のお手入れ

- ・ 布の目に沿ってブラシをかけながら軽くたたいてホコリを浮かせた後、掃除機で吸い取ってください。
※ 粘着式クリーナーは繊維の表面を傷める可能性があるので使用しないでください。
- ・ ジュースなどの液体をこぼした場合
 - ① 直ちに乾いたタオルで水分を吸い取ります。
 - ② 薄めた中性洗剤を浸して絞ったタオルで軽くたたくように汚れを落とします。
 - ③ 水を含ませた絞ったタオルでたたくように洗剤分を取り除きます。
 - ④ 最後に乾いたタオルで水分を取り、風通しのよい場所で完全に乾かします。

※ 擦ると汚れを広げたり、布地がけば立ったりする可能性があるので擦らないでください。

● リモコンのお手入れ

- ・ 乾いた布で汚れを拭き取ってください。
※ 故障の原因になるので、絶対にぬれた布では拭かないでください。

保管方法

⚠ 注意



禁止

次の場所では保管しない。

- 暖房器具などの近くで直接高温になる場所
- 振動や衝撃の加わる場所
- 直射日光の長時間あたる場所
- 湿度の高い場所

事故や故障、またはひび割れや変形、変色の原因となります。

製品に重い物を載せた状態で保管しない。

変形や故障の原因になります。

- 汚れやほこりを取った後、湿気の少ない場所で保管してください。
汚れやほこりを落とさないで保管するとカビの発生やシミの原因になります。

こんなときには

※ 次のような症状が起きた場合は、下記の内容をご確認のうえ、なお異常がある場合には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、『お買い上げの販売店』または弊社『お客様相談室』までご連絡ください。

	ご確認ください
1. ボタン押しても動かない。	● 電源プラグが抜けていませんか？ → ◎ 電源プラグをしっかりと差し込む。
2. リモコンが正常に動作しない。	● ケーブルは接続されていますか？ → ◎ ケーブルをしっかりと差し込む。 ● 電源の状態等により誤作動してい → ◎ 電源プラグをコンセントから一度抜き、もう一度差し込む。
3. 上記「1、2」を確認し、対処しても動作しない。 例) 使用中に突然停止した場合等 ・ コンセントが外れた ・ ブレーカーが落ちた ・ 停電が起きた	◎ リセットを行う 電源を接続し、リモコンの背もたれ、△(起きる) ボタンとフットレスト、△(上がる) ボタンを同時に押す。 電源ランプが数回点滅した後、チェアポジションに戻り、リセット完了。

仕様

商品名	リフトアップチェア セパラ
使用電源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	最大75 W (待機電力 0.4 W)
本体寸法	幅 70 cm
	奥行 87 ~ 157 cm
	高さ 83 ~ 144 cm
座面高さ	44 cm
本体重量	57 kg

最大使用者体重	80 kg
使用人員	1人
リモコンコード長	150 cm
電源コード長	160 cm
昇降速度 (荷重80kg時)	上昇 5.9~6.1 mm/s
	下降 6.1~6.3 mm/s
構造部材	鋼、鋼管、天然木、合板、PVC
クッション材	ゴムバンド、ウレタンフォーム、樹脂綿
外装張地	ポリエステル 100%

アフターサービス

保証書について

- ◎ 保証書はお買い上げ販売店で「お買い上げ日、お買い上げ店名」を記入していただけてください。
- ◎ 保証書に記入ができない場合は、お買い上げ日、お買い上げ販売店名のわかる書類（納品書や領収書など）と併せて大切に保管してください。

補修用性能部品の保有期間

- ◎ 弊社は本商品の補修用性能部品の、製造打ち切り後6年間保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

- ◎ 修理をご依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、再度ご点検のうえ、なお異常がある場合には『お買い上げの販売店』、または弊社営業所までご連絡ください。

保証期間中は

- ◎ 保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。

保証期間を過ぎてるときは

- ◎ 修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

- ◎ できるだけ詳しくお願いいたします。
 - ①ご住所、ご氏名、電話番号
 - ②型式名、お買い上げ販売店名、お買い上げ日
 - ③故障または異常の内容

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

お客様相談室

修理、お取り扱い、お手入れなどのご相談は、まず、『お買い上げの販売店』へお申し付けください。

◎ 弊社は厳格な検査を経て納品いたしておりますが、万一不具合点がございましたら、『お買い上げの販売店』、または弊社『お客様相談室』にお問合わせください。

フリーダイヤル ☎ 0120-39-2824

受付時間：月～金曜日、9～12時、13～17時
(土、日、祝祭日、年末、年始、弊社指定の休日等は除く)

保証書

型 式	リフトアップチェア セバラ			
保証期間	お買い上げ日	年	月	日から1年間
お 客 様	ご住所 〒			
	ご氏名			
	電話番号			

この製品は、厳重なる品質管理及び検査を経てお届けしたものです。
お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本保証書記載内容によりお買い上げの販売店が受け付けいたします。
※ 修理は、お買い上げの販売店に必ず本保証書を提示の上、ご依頼ください。
※ 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

販売店

見本

フランスベッド株式会社
〒196-0022 東京都昭島市中神町1148番地5
TEL 042 (543) 3111 (代表)

保証規定

- 保証期間内に正常なる使用状態において万一故障した場合には、無償修理いたします。
お買い上げ日及び販売店名は、納品書又は領収書等で確認させていただきますので、保証書とともに紛失しないよう保管願います。
- 次のような場合には、保証期間内でも有償修理になります。
 - (イ) 使用上の誤まり、不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の転倒、落下等による故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、ガス害、塩害等による故障及び損傷。
 - (ニ) 電源を使用する製品においては、指定電源（日本国内仕様）AC100V 50/60Hz 以外での使用や異常電圧による故障及び損傷。
 - (ホ) 一般家庭用以外（例：業務用の長時間使用）に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ヘ) 本保証書のご提示がない場合。
 - (ト) 本保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入が無く、納品書又は領収書等にて必要事項の確認ができなかった場合。
 - (チ) 保証書の記載事項の字句を書き替えられた場合。
 - (リ) 消耗部品の取替え及び点検等の費用。
 - (ヌ) 設置場所（床面のゆがみ等）に起因される異音、組立不具合。
 - (ル) 本製品外より発生した食虫害。
 - (ヌ) 離島や離島に準ずる遠隔地については、弊社規定に沿った訪問に要する実費を申し受けることがあります。
- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 法的責任
この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問合わせください。
- 保証の対象
本体及び付属品。但し、消耗部品、縫製部品、別売部品は除く。
- 免責
本製品の故障の放置又はその使用によって生じた、直接、間接の損害についての保証は、一切その責を負いませんので、予めご了承ください。

修理の記録